



2010日光そばまつり

11月20日(土)～23日(火・祝)の4日間、日光だいや川公園などで、合併5周年記念2010日光そばまつりが開催されました。そばまつり会場には、数多くのそば処や物産を販売するブースが立ち並び、イベントステージでは、さまざまなアトラクションが披露されました。22日・23日には地産地消・食育フェアと題して、アイスクリームやバター作り、そば打ち体験教室、チャリティにら販売なども行われました。

また、今市運動公園体育センターでは、20日・21日の2日間、素人そば打ち段位認定大会が開催され、県内外から91名が出場しました。初段位から三段位の認定取得を目指して技を競い、晴れて68



“焼き”そばまつりの様子。三段位認定大会の様子。

名の方が段位を取得しました。23日には今市大通りアーケード街で“焼き”そばまつりも開催され、22店が出店しました。10店舗の食べ歩き券と投票券がセットになった食べ歩きラリー券の販売や焼きそばフォトコンテスト、焼きそばまつり公式テーマ曲の発表・ライブなども行われました。例年より3週間遅らせて開催した今回のそばまつりですが、まつりの後半に雨や冷え込みはあったものの、4日間で11万人もの来場者があり、連日そば処や物産店の前には長い列ができていました。そしてそれぞれの会場には、そばを味わう人や焼きそばの食べ歩きをする人、買い物を楽しむ人たちの笑顔が溢れていました。

わたらせ渓谷鐵道
各駅イルミネーション



12月5日(日)、足尾地域と群馬県を結ぶ、わたらせ渓谷鐵道の沿線各駅でイルミネーションの点灯が始まりました。足尾地域では、間藤駅、足尾駅、通洞駅、原向駅が色鮮やかに飾られています。

点灯期間は2月28日(月)までとなっていますので、皆さん冬のロマンチックな景色を楽しんでみてはいかがでしょうか。

日光市民の安全で安心なまちづくり推進市民大会

12月4日(土)、安全で安心なまちづくり推進市民大会が今市文化会館で行われました。

冒頭に、事件から5年が経過した女児殺害事件の被害者である吉田有希さんに、参加者全員が黙とうをささげ冥福を祈りました。

大会では、日光、今市両警察署から今年4月に栃木県暴力団排除条例が施行されることや、市内の



犯罪状況、交通事故発生状況などの報告がありました。アトラクションでは、立川朝志氏による「防犯落語」が行われ、会場を笑いに誘いながらも防犯に対する心構えなどを伝えました。その後、幸島美智子氏が「子どもを犯罪の被害者・加害者にならない子育て」と題して講演を行いました。講演では、子どもに危険を教える際には、より具体的に教えることの必要性や、愛情を持った子育ての重要性を訴えました。

下野大沢駅西口開設式

12月4日(土)、JR日光線下野大沢駅に西口駅舎が完成し、地域の皆さんでつくる下野大沢駅西口周辺まちづくり協議会および委員会による開設式が行われました。

西口開設は、30年ほど前から地域の皆さんから要望されていたもので、乗車券の販売はこれまでどおり東口で行われますが、西口駅舎には、簡易Suica(自動運賃精算機)や乗車証明書発行機が設置され、利便性が向上しました。

今後、西口周辺には駅前広場や道路、駐輪場も整備さ



れます。この日の開設式では、開設の経緯報告やテープカットなどが行われたほか、イロハモミジとヤシオツツジが5本ずつ植えられた記念植樹や、記念碑の除幕も行われました。また、さかえ保育園の園児による元気なダンスも披露され、式典終了後、西口駅舎は正午から利用が開始されました。



市政・教育功労等表彰式

11月23日(火・祝)、平成22年度の市政・教育功労等表彰式が今市文化会館で開催されました。

市政功労等表彰では、地方自治などの各分野で市政に功労のあった37名の表彰と、市への寄付や奉仕活動などの善行表彰として6名・1夫妻・1団体への感謝状・表彰状の贈呈、国の各省大臣表彰を受賞された6名への賀状の贈呈が行われました。教育功労者等表彰では、各種委員などで教育行政に



功労のあった21名と文化財保護の功労のあった1団体の表彰、国や県から教育功労などにより表彰を受けた方、およびスポーツ大会などにおいて優秀な成績を収められた方41名・15団体への賀状の贈呈、教育振興のための寄付をされた1名への感謝状贈呈、また模範児童33名・模範生徒41名への表彰が行われました。なお、式の最後には、全受賞者を代表して大橋芳明さん(小来川)があいさつをしました。

今月の表紙
子供強飯式



11月25日(木)、七里の生岡神社で市の無形民俗文化財に指定されている子供強飯式が行われました。

この神事は無病息災や豊作を祈る伝統行儀で、山伏と強力に扮した地元の少年が、強飯頂戴人の前で口上を述べます。山伏が「料理が望みか、強力を持って責め、やい強力料理をもてえ」と命じれば、強力が足を踏み鳴らして登場し、

「一粒でも残してはならん」と頂戴人を責め立てます。その後、強飯頂戴人が山盛りの里芋を食べさせられたり、竹馬にのせられ引き回されたりと、とてもユーモラスなものとなっています。

今年の山伏と強力は、野口小学校6年生の、佐々木嵩悟さんと神山嶺さんが演じました。二人は、「練習はたいへんだったけど、本番はよくできたと思います」と感想を聞かせてくれました。終了後には、見学に訪れていた野口小学校の児童との写真撮影も行われ、大役を果たした二人の顔には安堵の表情がうかがえました。

